

シミュレーションモデル適用事例シート

	大分類	交通施策	小分類	TDM	シミュレーションモデル名	SOUND-arterial			
概要	適用事例名	東京都南西部における道路交通需要の空間的・時間的分散による渋滞削減効果							
	目的・概要	本事例は、トリップの経路変更と時刻の調整、すなわち空間的・時間的な需要の分散による渋滞削減可能性について実データを基に定量的な評価を試みたものである。							
	本事例におけるモデル適用上の特徴								
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	東京都南西部(13×18km程度)			対象時間帯	平日午前6時-正午			
	評価対象時期	平成6年度							
	対象道路網	概ね主要地方道、都道以上の道路							
	ネットワーク規模	ノード数	249	リンク数	623	起終点ノード数	72+69	総トリップ数	約24万
		一般街路ネットワーク		交差点数	91	信号交差点数	0*	道路区間数	194
		自専道ネットワーク		分岐部数		出入口数		道路区間数	
	特記事項	信号交差点は分岐容量に換算して表現している							
	<p>(ネットワークの概略図面を添付)</p>								
	入力データ	道路 データ	単路部	リンク長、車線数、容量、自由流旅行速度					
			交差点部	分岐容量					
合流部									
信号 制御		設定パラメータ	設定しない(「飽和交通流率」×「スプリット」相当の分岐容量を与える)						
		作成方法							
交通需要		設定単位	OD 交通量						
		作成方法	各交差点における方向別交通量ならびに断面通過交通量(いずれも1時間単位)を用いてOD推定						
	空間単位	道路交通センサス中ゾーン程度							
	時間単位	1時間単位							
車両属性区分	2車種(大型車、小型車)、但し大型車は小型車換算して与える								
その他									
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式、3秒/1スキャン							
	パケットサイズ	3台/パケット							
	経路選択原理	旅行時間をコストにした確率的経路配分(Dial配分)、5分毎に更新							
	特記事項								
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	交差点部の方向別交通容量(=SFR×スプリットに相当する量)						
		方法	1時間単位の1)断面通過交通量、2)主要区間における旅行時間が観測値に等しくなるようにパラメータを手作業で調整						
	検証方法	旅行時間、交差点方向別交通量を用いた検証							
	検証用データ取得方法	フローティングカーにより観測された旅行時間、交差点における方向別交通量							
出力データ	総旅行時間、車両別旅行時間など (目的とする評価に用いたデータのみ記述)								
記入者	所属機関・部署	高知工科大学・社会システム工学科							
	電話	0887-57-2406	FAX	0887-57-2420					